

薬に頼らず正常値!
耳鳴り、めまい、頭痛も解消!
医師も実行中の最善ケア!

病気が快方!
突然の昇給でローン完済!
面接合格!夫もやさしく!
もめば幸運到来!!

脳梗塞、心臓発作で倒れない!! 高血圧がぐん治る!!

2009
8

はつらつ元気

夏に怖い脳梗塞
高血圧がぐん治る!!
心臓で絶対倒れない!!

ビワ葉チンキ、ウーロン茶入浴でステロイド肌脱出!
かゆみ、色素沈着(腫れ)乾燥が全快!!
私を救ったアトピー自療法

フジTV「とくダネー」も驚く! 飲むだけでウェスト縮小!
お湯飲みで代謝アップ!!

14kg 8kg 5kg スリムやせた!!

- ◆体内浄化と免疫向上で、ピロリ菌も撃退! 「桜島の活泉水」
- ◆高血圧、アレルギーが改善! 「醤油ソバ発酵エキス」
- ◆歯科名医が語る「歯周病NO.1ケアと生涯満足の入れ歯」

潤い体験サンプル付き! 肌にスースと浸透して古い角質を除去!
抜群の実績! 杏仁オイル
実感付録

骨密度が楽上昇!! 骨粗鬆症
ボケまで退ける開眼片足立ち

医師が学会発表! 転ばない杖いらない! スタッタ健脚!
突然の昇給でローン完済!
面接合格! 夫もやさしく!
もめば幸運到来!!
病気が快方!
体風水マッサージ



「歯周病」のNo.1予防ケア&生涯満足の「入れ歯」作成術

歯周病予防から展開する環境保護へのアプローチ

自然にやさしいエコ歯科医院として リサイクル・森林育成に取り組む

取材協力●岩井歯科院長 岩井正彦 構成●「はつらつ元気」編集部

国際規格をダブル取得し
医療廃棄物、CO₂削減へ

岩井歯科では二〇〇七年一二月、
品質マネジメント国際規格のISO
9001、環境マネジメントシステ
ムの国際規格ISO14001の認

証を取得。環境にやさしいエコ歯科
医院として、歯科診療を通じて医療
廃棄物やCO₂の削減を本格的に推進
されるようになりました。

たとえば、歯周病や虫歯の「治療」
と「予防」では、医療廃棄物の量は
九二一で「治療」の方が多いのです

(型を取つて作るかぶせもの、詰め
もの、手袋など)。

そこで岩井歯科では、治療よりも
予防という意識を患者さんに理
解していただくことで、ひいては環
境汚染の防止に努めています。

同じく廃棄物の減量をすすめるた
め、患者さんにはマイコップ、マイ
カップの持参を奨励。義歯やかぶせ
ものなど取り除いた金属は、リサイ
クルに活用しています。

森林育成用の
土地では植樹
のイベントを開催。診療で
用いられた金
属素材のリサイ
クル費用を活用。
森が育てばCO₂
削減に貢献



歯科が森林育成用に入
手した土地では、二〇
〇八年、二〇〇九年と
二年連続で子供たちを
対象に植樹イベントが
催されました。診療で
使われた金属のリサイ
クルで、植樹の経費が
まかなわれ、さらに森
林が育つことでCO₂
削減にも貢献します。



●通常のインレー(詰めもの)処置後の
医療廃棄物



●歯周病の予防診療後の医療廃棄物

院内の設備でも健康創造サロンの
増築のほか、使用する水はすべて殺
菌水を用いることで排水の汚れを改
善。殺菌水の噴霧や殺菌水を用いた
刷掃、空気清浄ユニットにより清潔
度一〇〇〇〇を実現し、空気感染症
の発症の防止にも努められています。
定期的な歯のメンテナンスで、自
分の歯を生涯保持。環境保全にも配
慮する二一世紀の歯科診療として、
岩井歯科の取り組みには現在、大き
な注目が寄せられています。



歯周病の予防診療として着実な成果！
岩井歯科で行われる
「IMTS」の基本手順

指導●岩井歯科衛生士 鶴留永子

Profile

鶴留永子(つるどめ・えいこ)

平成14年愛知県立歯科衛生専門学校卒業。高橋歯科勤務後、平成16年より岩井歯科勤務



1. 問診・初診 カウンセリング

(応急処置、唾液検査等)

診療体系の説明と患者さんの自覚症状や要望を確認。歯科医師の指示のもと口腔内を診査し、口腔内写真撮影、唾液検査等を実施。歯科医によるレントゲン診断、応急処置も行って記録



バイオフィルム(歯周病原菌のかたまり)の破壊と除去を行って、口腔内を清潔にすることで、歯周病を悪化させる原因を解消する

3. 初期治療



2. セカンド カウンセリング

(治療方針説明、口腔内レポート提示等)

口腔内と唾液検査の結果を提示。歯周病治療を始めるにあたっての方針を説明し、患者の理解と同意を得る。ブラーク(歯垢)を採取して、顕微鏡で細菌の状態を確認し、口中を清潔に保つことの重要性を伝える



4. 再評価①

治療の中間地点として、初期治療後の口腔内の状況をチェック。初診時の比較をモニター等で患者に説明する。自宅でのケアについても再確認。症状の軽減が認められたら治療に移行する



5. 治療

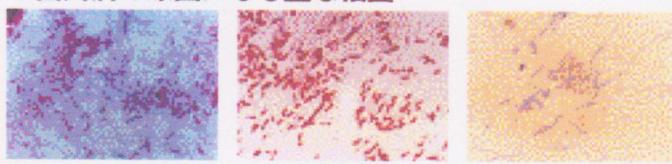
初期治療の結果と予防プログラムについて歯科医に伝達し、治療部門との連携をはかる。治療部門において補綴処置(患部にかぶせもの、詰めものをする)が行われる

6. 再評価② (メンテナンス等)

治療後の改善度を診査するため、初診時と同じ検査をすべて行って再評価をする。評価結果から口腔の健康状態の回復が認められれば、メンテナンス指導を行う。患者さんには定期的な来院をすすめて、担当衛生士がメンテナンス状態の管理を継続する

【歯周病】のNo.1予防ケア&生涯満足の「入れ歯」作成術

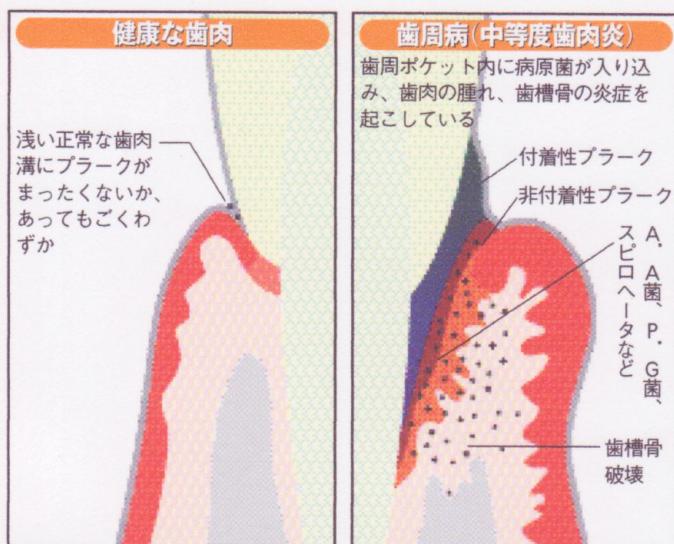
●歯周病の原因になる主な細菌



①歯周病巣細菌叢

②プロフィロモナス・ジンジバリス

③スピロヘータ



●歯周病を確実に退治して自分の歯を生涯保つためには、一度限りの治療では不十分なのです。

●岩井院長 そこで、定期的な歯のメンテナンスで歯周病原菌の再度の増殖を防ぐことが、将来の抜歯を避けるために最も重要なケアとなるわけです。先にあげた歯の残存本数のデータが、まさにその成果を証明しています。

個別の歯周病のリスク度合いによって受診のペースは違いますが、岩井歯科のIMTSでは、患者さんにはほぼ三ヶ月に一回・三〇分（一時間の診療を受けていただく

ようおすすめしています。

●IMTSでは、どのようなデータをもとにして歯のメンテナンスをすすめているのですか。

●岩井院長 口腔内の写真・レントゲン写真・細菌数を調べる唾液検査など患者さんのデータとともに、メンテナンスの詳細な内容を個別に決定します。

地域のみなさまからも私どもの診療方針への理解が得られ、現在、一人の歯科衛生士が一ヵ月で二〇〇～二五〇名の患者さんのメンテナンスを受け持っています。

●こうした診療システムを取り入れる歯科は、今後、全国的に増えていくでしょうか。

●岩井院長 先駆的な診療システムであるため、現時点で導入している歯科はまだ多くはありませんが、「生涯、自分の歯で食べたい」という万人の願いをかなえるうえで、今後の歯科診療の大きな柱となることは間違いないありません。

私も岩井歯科でも、歯周病原菌を排除して免疫力を高める食生活についても研究（教育）するなど、メンテナンス内容をさらに充実させていきたいと考えています。

◆スピロヘータなどこれらの細菌が歯肉溝（歯と歯ぐきの境目）で異常増殖すると、歯肉の腫れや出血を発症。やがて歯槽骨の破壊にまで至れば、抜歯をするほか選択肢はありません。

●岩井院長 確かに、歯周病原菌が減少して炎症が鎮まれば、歯肉溝は健康な状態へと回復します。

ただし問題は、歯周病原菌はその数がいつたん減っても、処置後一二〇一六週間でもとの状態に戻る傾向がある、ということです。喫煙、糖尿病、歯ぎしりなど歯周病の誘因が解消されないままだと、再発のリスクはさらに上昇します。女性ホルモンの分泌バランスも歯周病原菌の増殖に関係するため、妊娠中や更年期には歯周病が進行しやすくなるのです。



歯周病を防ぐ画期的な取り組み「IMTS」を推進している岩井院長と歯科衛生士のみなさん

生涯、自分の歯で食べる!・歯周病の定期メンテナンス「IMTS」を推進しています



Profile

岩井正彦 (いわい・まさひこ)
昭和54年愛知学院大学歯学部卒業。
昭和56年岩井歯科開業。平成5年医療法人正明会開設。
愛知学院大学歯学部非常勤講師、滝学園校医、
宮田東保育園園医、誠信高校校医、
愛知江南短大付属幼稚園園医。日本歯科理工学会認定医。
所属学会：日本歯周病学会、日本インプラント学会、
日本歯科理工学会

岩井歯科院長 岩井正彦

●一般的に歯科とは、歯周病や虫歯で歯が痛くなつたら受診をするもの、と考えられています。

●岩井院長 それはとても残念なことで、自分の歯を生涯長持ちさせることは、痛くなつたときだけ治療を受けるより、定期的なメンテナンス（手入れ）を続ける方がずっと有効なのです。

しないで、歯の残存本数に違いが現れるのはなぜでしょうか。

●岩井院長 それには、抜歯の原因となる歯周病という病気の性質が大きく関係しています。歯周病とは、歯周病原菌の感染から起きる炎症性疾病のことです。口の中には三〇〇～四〇〇種類の細菌が存在していますが、特に歯周病原菌となるのは以下のようない細菌です。

◆アクチノバチルス・アクチノマイセテムコミタンス（A・A菌）
◆プロフィロモナス・ジンジバリス（P・G菌）

◆プレボテラ・インテルメディア（P・I菌）

八〇歳での歯の本数に倍以上も差が現れる

トメント・システム）の推進に力を入れています。

具体的には、歯周病の「治療」よりも、「予防」に重点を置いた診療に取り組むということです。

歯の痛みや出血などの自覚症状がなくとも、患者さんに定期的な受診をおすすめし、歯周病原菌を減らすクリーニングをしたり、歯を強くするためにフッ素を塗布し

●定期的なメンテナンスをする・
三ヶ月に一度の受診で
細菌の再増殖をストップ



●現在、岩井歯科ですすめられている、歯周病の診療システムの特徴とはどのようなものですか。

●岩井院長 歯科先進国スウェーデンなど北欧諸国で普及している診療システムを参考に、IMTS（イワイ・メディカル・トリートメント・システム）の推進に力を入れています。

厚生労働省の歯科実態調査によると、一般に八〇歳での歯の平均残存本数は八本。それに対し、歯科で歯のメンテナンスを二〇年以上続けていている人は、八〇歳での歯の平均残存本数が一八本もあるというデータが報告されています。

●岩井院長 歯科先進国スウェーデンなど北欧諸国で普及している診療システムを参考に、IMTS（イワイ・メディカル・トリートメント・システム）の推進に力を入れています。